

下肢静脈瘤専門 熊本血管外科クリニック News Letter Vol.1

— 2010年5月号 —

下肢静脈瘤の**日帰りストリッピング手術**を専門に行うクリニックとして5月6日熊本市上通町に開院しました。また血管内レーザー治療やインビジグリップという箇所みの小切開で行うカテーテル手術も行っており、小さな切開で目立たない傷をモットーに常に新しい治療技術を追いかけていきたいと思っています。できるだけ待ち時間を少なく、またお一人に充分な時間をかけて診察と説明をしますので診療は**完全予約制**とさせていただきます。

■ 従来は、「1週間の入院が必要」とされていたストリッピング手術ですが、最近の麻酔法と手術法の進歩により、日帰りでの根治的な治療が可能になりました。

	以前の方法	現在の方法
麻酔法	全身麻酔	バランス麻酔
除去方法	外翻式	内翻式
出血・痛み	(+)	(-)
入院期間	4-14日	0泊
費用(3割)	12-15万円	4-6万円

現在の方法は以前の方法と比較して患者さんの**身体的・経済的・時間的な負担が軽いのが特徴**です。

■ 過去一年間の手術症例は127例でした(レーザー手術18例、インビジグリップ手術16例を含みます)。**平均の手術時間は45分**、皮膚切開数は2.8箇所、全例で術直後から歩行が可能で医学的入院を必要とする症例はありませんでした。

県外など遠方からは、手術当日には近くの提携施設に一泊していただき、翌日の包帯交換後に帰宅となります。

■ 静脈瘤の「治療法」の選択について・・・

足にうっ血症状のある中等症の方や、皮膚炎や色素沈着を合併した重症の方には、**根治性が高く再発の少ないストリッピング手術をお勧め**しています。

重症度	軽症	中等症	重症
硬化療法	△		
ストリッピング	○	◎	◎

■ 当院での「治療の流れ」について・・・

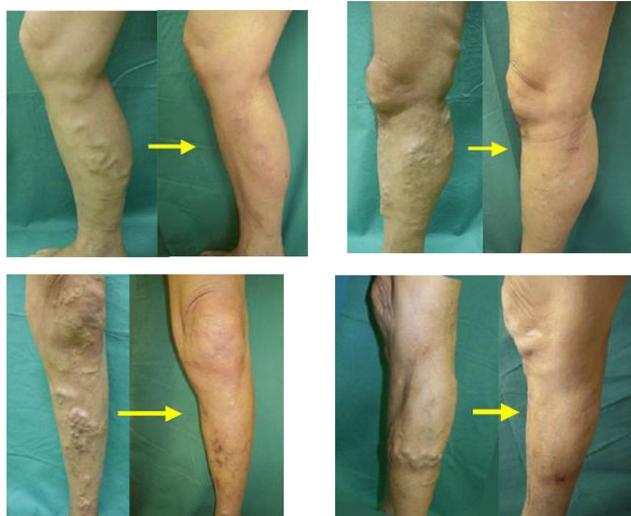
初診時： 問診と超音波検査の後、治療方針を説明します。

初診時に手術の予約や術前検査も可能です。

手術当日： 着替えをすませ手術室に入室。手術は約1時間で終了します。局所麻酔に加えて、超短時間作用の静脈麻酔薬を2種類併用し、痛みや不安を感じることなく、半分眠っている間に手術は終わります。術後は普段どおりに歩行、会話、トイレ、食事が可能ですので**入院の必要はありません**。

術後1-2日： 固定包帯をはずし弾性ストッキングに履き替えます。遠方から来院の方には抜糸の必要のない傷閉鎖(埋没縫合)も可能です。

■ 手術を受けた患者さんの術前後の様子です。多くの症例で、術後すみやかに足の不快なうっ血症状が改善します。またできるだけ少なく小さな傷で手術を行っています。



【昨年の講演と発表】

- 平成22年5月9日 熊本大学心臓血管外科同門会総会
「TLAを用いた下肢静脈瘤の日帰り手術」(熊本市)
- 平成22年5月8日 熊本日日新聞、朝刊14面掲載
「下肢静脈瘤：日帰り手術で負担少なく」取材記事
- 平成21年9月12日 第168回熊本外科集談会(熊本市)
「術中超音波を応用したTLA下ストリッピング手術」
- 平成21年8月21日 山鹿市立病院公開特別講演会(山鹿市)
「下肢静脈瘤の新しい治療法：Day Surgery」
- 平成21年7月28日 第1回熊本TLA研究会(熊本市)
「局所麻酔(TLA法)による日帰りストリッピング手術」
- 平成21年7月17日 菊池郡市医師会学術講演(合志市)
「下肢静脈瘤に対する新しい治療法：Day Surgeryについて」
- 平成21年7月3日 熊本赤十字病院記念講演会(熊本市)
特別講演「下肢静脈瘤の新しい治療法」
- 平成21年6月12日 第21回熊本末梢血管研究会(熊本市)
「下肢静脈瘤の術式の変遷とコストに関する検討」
- 平成21年5月28日 第46回九州外科学会(久留米市)
「局所麻酔(TLA)による下肢静脈瘤ストリッピング手術」
- 平成21年5月14日 第37回日本血管外科学会(名古屋市)
「下肢静脈瘤手術における手術侵襲とコストに関する検討」

■ これまでの経験と技術を生かして下肢静脈瘤に悩む患者さんを一人でも多く治療していきたいと思っています。クリニックのホームページ(下記にアドレス)でも随時情報提供中ですのでご一読頂ければ幸いです。

発行者：熊本血管外科クリニック 宇藤純一
連絡先：熊本市上通町1-1 NK第一ビル3F
TEL: 096-288-3851 (電話予約制)
<http://www.kumamoto-kekkan.com>